

復習シート 第四学年 国語

組

番号

名前

模範解答

国語（話すこと・聞くこと）

【発表のくふうを考える問題／話の中心をとらえる問題】

小学校4年

1

あおいさんのクラスではスーパーマーケットの店長さんから話を聞き、家の人に向けて発表会を行います。あおいさんのまとめた【店長さんの話】と【発表原こう】を読んで、あとの問いに答えましょう。

【店長さんの話】

「人がはたらいて」と書いてあることに注目。

【発表原こう】

へ A へ
お店では、やく百三十人の人がはたらいています。品ものをならべる仕事、レジをうつ仕事、※そうざいを作る仕事など、他にもたくさんの仕事があつて、分たんしています。

へ かんきよう問題への取り組みへ
お店には、リサイクルステーションをおいて、かんやペットボトル、トレーなどの回しゆうをしています。また、家から買物ぶくろを持ってきてもらい、レジぶくろを使わないような取り組みもしています。

へ 品物についてへ
お店には、いつもたくさん品物がならべてあるようにします。たくさんならべるだけでなく、いつも新せんなものをおいたり、買いやすいように小分けにしたりしています。

みなさんは、スーパーマーケットに、どんなくふうがあるか知っていますか。わたしは、社会科見学でスーパーマーケットに行き、店長さんからお話を聞きました。

お店には、毎日たくさんのおきやくさんが来ます。そのため、売場にはたくさん品物があるべられています。品物は、新せんものがならぶように気をつけているそうです。品物をならべる他にも仕事はたくさんあつて、レジをうったり、そうざいを作ったりするそうです。

また、お店にはリサイクルステーションがあつて、空きかんやペットボトル、トレーなどを回しゆうしています。かんきようを考えて、買物ぶくろを持ってきてもらうようにおねがいしているそうです。

スーパーマーケットには、お客さんのためにも、かんきようのためにも、いろいろなくふうがあることがわかりました。

※そうざい……はんなどにそえる、おかずのこと。

① 聞いている人によくつたわるように、【発表原こう】ではどのようなふうをしていますか。次からえらび、番号を書きましよう。 **レベル7**

1 しりょうを見せて、わかりやすくつたえている。

2 店長さんの話の中からつたえたいことを一つにしぼって、くわしく書いている。

3 問いかけから始めて、聞き手のきょう味を引いている。

4 自分の感想を多く入れて、つたえたいことをまとめている。

人につたえる時には、
つたえる内ようや目的をはっきりさせたり、
しりょうをもとにせつ明したり、
聞き手に合わせた言葉づかいを考えたりすることが大切です。
教科書で学習した発表のしかたを、かくにんしてみましよう。

3

② 【店長さんの話】の **A** にあてはまることばを、次からえらび、番号を書きましよう。 **レベル7**

1 お店のくふう

2 はたらく人について

3 お客さんについて

4 売り場のようす

2

「人がはたらいています。」
「仕事があつて、分たんしています。」という言葉から、
はたらく人について話している事がわかりますね。
話を聞く時は、話の中心（話し手がいちばん話したいこと）に気をつけて聞くことが大切です。



復習シート 第四学年 国語



コピシ

組

番号

名前

模範解答

【条件に沿って理由をあげて自分の考えを書く問題】

①

入学したばかりの一年生にあなたの学校のおすすめの場所について、発表します。あなたが、一年生の子たちに教えたい場所はどこですか。

あなたが教えたい場所と、その場所を教えたい理由を、次の〈注意〉をよく読んで、書きましょう。

レベル7

〈注意〉 1 二段落で、四行以上、五行以内で書くこと。

2 一段落目には、あなたが一年生の子たちに教えたい場所を書くこと。

3 二段落目には、あなたがその場所を教えたい理由を書くこと。

わたしが、一年生に教えたい場

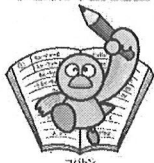
所は、校庭のさくら並木です。

理由は、春になると、さくらの

花が咲いて、とてもきれいだから

です。

埼玉県学力・学習状況調査



コピシ

復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前
模範解答

【情報を読み取る問題】

1 次の問題を解きなさい。

【R2】復習シート 小学校4年 国語（読むこと）

親子の銀ぎつねは、ほら穴あなから出ました。子どものほうは、お母さんのおなかの下へ入りこんで、そこから真ん丸な目をぱちぱちさせながら、あつちやこつちを見ながら歩いていきました。

やがて、ゆくてにぼつとり、明かりが一つ見え始めました。それを子どものきつねが見つけて、

「母ちゃん、お星様は、あんな低い所ひくにも落ちてるのねえ。」
と聞きました。

「あれはお星様じゃないのよ。」
と言って、そのとき、母さんぎつねの足はすくんでしまいました。

「あれは町の灯ひなんだよ。」
その町の灯を見たとき、母さんぎつねは、あるとき町へお友達ともだちと出かけて行って、とんだめにあったことを思い出しました。およしなさいって言うのも聞かないで、お友達のきつねが、ある家のあひるをぬすもうとしたので、お百しように見つかって、さんぎ追いまくられて、命からがらにげたことでした。

「母ちゃん何してんの、早く行こうよ。」
と、子どものきつねがおなかの下から言うのでしたが、母さんぎつねはどうしても足が進まないのです。

（出典 新美南吉 「手ぶくろを買いに」）

一 子どものきつねは、町の灯ひを見て、何と間ちがえたのでしょうか。

二字で書きぬきましょう。レベル6

お星様

「町の灯」の前にある、「あれ」が指し示している言葉を探します。

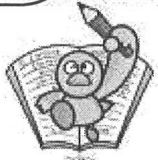
「あれはお星様じゃないのよ。」 「あれは町の灯なんだよ。」という

母ぎつねの言葉から、「お星様」が答えとなります。

二 母さんぎつねの足がすくんでしまったのはなぜですか。もっともふさわしいものを、次の1～4の中から一つえらびましょう。 レベル7

- 1 子どものきつねが、お星様が低い所に落ちていると言ったことにおどろいたから。
- 2 あるとき、母さんぎつねが、ある家のあひるをぬすもうとしたところを見つかったしまい、がっかりしたことを思い出したから。
- 3 あるとき、お友達のかつねが、ある家のあひるをぬすもうとしたところを見つかった命からがらにげたことを思い出したから。
- 4 あるとき、お友達のかつねが、言うことを聞かずにあひるをぬすもうとしたことにはらが立ったことを思い出したから。

3



「足がすくむ」とは、緊張や恐怖で足がこわばって動けなくなることを。母さんぎつねが町の灯を見た時に思い出したことを読み取りましょう。思い出したことは、「母さんぎつねの足はすくんでしまいました。」の後に書かれています。

- 1は、母さんぎつねが思い出したことではない。
- 2は、「母さんぎつねが、ある家のあひるをぬすもうとした」が間ちがい。
- 3は、せいがい正解。
- 4は、「はらが立った」わけではないのでふせいがい不正解。

復習シート 第四学年 国語

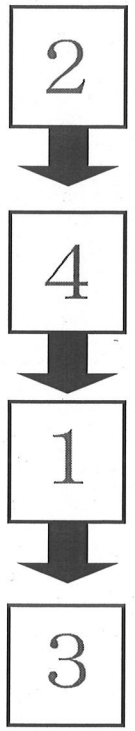


組	番号	名前
模範解答		

【国語辞典に出てくる順に言葉を並びかえる問題】

① 次の1～4の言葉を、国語辞典で調べるときに出てくる順番にならびかえましょう。

- 1 パック
- 2 はつか
- 3 はつねつ
- 4 バック



①「は・ひ」②「ば・び」③「ぱ・ぴ」の順で辞典に出てきます。

【文中の主語、述語にあたるものを選択する問題】

② 次の文の主語、述語を―線部1～4の中からそれぞれ選びましょう。

(1) わたしは、妹と 楽しく 公園で 遊ぶ。

主語	1
述語	5

主語は「何が」「何は」「だれが」「だれは」を見つけ、述語は「どうする」「なんだ」「どんなだ」を見つけましょう。

(2) きのう 動物園で きりんが 葉つばを 食べていた。

主語	3
述語	5

【漢字の音読みと訓読みを理解する問題】

③ 次の漢字の―線部の読みがなを書き、音読みか訓読みかに答えましょう。

ア 音読み イ 訓読み

読みがな

あ <u>た</u> ためる	ア・イ
----------------	-----

ぎ	イ
---	---

(1) 体を温めるために、部屋の温度を上げた。

(2) 急に寒くなってきたので、上着を着た。

「音読み」は、聞いただけでは意味のわかりにくいものが多く、「訓読み」は、聞いただけで意味の分かるものが多いです。

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
模範解答		

【言語の問題】

1 次の問題を解きなさい。

次の一と二のことわざの意味としてふさわしいものを、1から4までの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましよう。

一 「笑う門には福来たる」

レベル5

- 1 いつもここにこにこしていると、しぜんによいことがめぐってくる。
- 2 いつもここにこにこしていると、あまり気持ちがたわらない。
- 3 いつもここにこにこしていると、わるいことばかりがやってくる。
- 4 いつもここにこにこしていると、よいこともわるいこともめぐってくる。

1

例文…わたしのクラスはいつも明るく笑い声がたえない笑う門には福来たるを絵にかいたようなクラスです。

二 「石橋をたたいて渡る」

レベル5

- 1 どうどうとしたふるまいをすることのたとえ。
- 2 とてもあぶないことをすることのたとえ。
- 3 用心の上にも用心することのたとえ。
- 4 うきうきした気持ちで歩いていることのたとえ。

3

例文…計算テストで百点をとるために、石橋をたたいて渡るように何度もたしかめた。



埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前
模範解答

【言語の問題】

1 次の問題を解きなさい。

次の一と二の故事成語こじせいごの使い方として正しいものを、1から3までの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましよう。

一 「矛盾」むじゆん

レベル5

- 1 公園にブランコがあるのは矛盾だらけだ。
- 2 あなたの言いわけは矛盾だらけだ。
- 3 日本の冬がさむいのは矛盾だらけだ。

2

矛盾の意味…物事や話している内容などのつじつまがあっていないこと

二 「推敲」すいこう

レベル5

- 1 わたしが書いた読書感想文の推敲をしよう。
- 2 わたしが書いた読書感想文は推敲になる。
- 3 わたしが書いた読書感想文に推敲される。

1

推敲の意味…文章を何度も練り直すこと



復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前
模範解答

【言語の問題】

1 次の問題を解きなさい。

次の一と二の に共通して当てはまる「へん」を、1から3までの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましょう。

一 反主直目

· · · ·

レベル3

1 きへん
2 ごんべん
3 さんずい

板・柱・植・相

1

二 由永羊主

· · · ·

レベル3

1 きへん
2 ごんべん
3 さんずい

油・泳・洋・注

3



埼玉県学力・学習状況調査 (小学校)

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前	模範解答

【言語の問題】

1 次の問題を解きなさい。

次の一と二の文のうち、しゅうしょくご修飾語に当たる言葉を、1から3までの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましょう。

一 赤い風船が、木の上をふわふわととんでいる。

レベル7

- 1 赤い
- 2 風船が
- 3 とんでいる

1

二 わたしは、きのう友だちと図書館へ行った。

レベル7

- 1 わたしは
- 2 図書館へ
- 3 行った

2

修飾語に当たる言葉を探すためには、ほかの部分の内容をくわしく説明する部分で、主語でも述語でもない部分を探してみよう。



復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前
模範解答		

【言語の問題】

1 次の問題を解きなさい。

次の一と二の文の□の「こそあど言葉」が指していることを、1から3までの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましょう。

一 きゆう、学校の図書館で新しい本を見つけた。わたしは、それをかりて読んだ。

- 1 きゆう
- 2 学校の図書館
- 3 新しい本

レベル7

3

二 家の近くに公園ができた。あす、わたしは□で友だちと遊ぶよていだ。

- 1 家の近く
- 2 公園
- 3 あす

レベル7

2



復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前
模範解答

【言語の問題】

1 次の問題を解きなさい。

次の一と二の言葉をコンピュータでローマ字入力するとき正しい打ち方を、1から3までの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましょう。

一 日記

レベル3

- 1 N I K I
- 2 N I I K I
- 3 N I K K I

3

二 親友

レベル3

- 1 S I N N Y U U
- 2 S I N Y U U
- 3 S I N Y U -

1



埼玉県学力・学習状況調査 (小学校)

復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前
模範解答

【言語の問題】

1 次の問題を解きなさい。

次の一と二の□の漢字は「音」と「訓」のどちらの読み方をしているでしょうか。
「音」または「訓」の読み方をしている漢字を1から3までのの中からそれぞれ一つずつ選んで、その番号を書きましよう。

一 「音」の読み方をしている漢字

レベル5

1 開会式を行う。

2 ふたを開ける。

3 本を開く。

1

二 「訓」の読み方をしている漢字

レベル5

1 合同

2 合体

3 気合い

3



埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

模範解答

【会話の内容から質問の言葉を考える問題】

1 次の文を読んで、あとの問いに答えましょう。

ゆう子さんが、消ぼうしよの、しよ長さんにインタビューしています。

ゆう子 「こんにちは。わたしは、南小学校の町田ゆう子です。今日は消ぼうし署のことについて聞きに来ました。よろしくおねがいます。はじめに、ここではたらいっている人は、何人いますか。」

しよ長 「ここではたらいっている人は、約百人です。火事が起きたときなどには、消ぼうしやきゆう助たい、きゆう急たいなどの部たいに分かれて仕事をします。」

ゆう子 「いろいろな部たいがあるんですね。その中で、消ぼうしよの人は、

A

しよ長 「消ぼうしよの人の仕事は、火事の知らせがあったら、いち早く出動し、出火をくい止めることです。」

ゆう子 「さい後に、

B

しよ長 「この地いきの火事が一番の原いんは、放火です。次は、たばこの火の消しわすれ。その次は、たき火です。みなさんも、あぶないので火遊びはぜつ対にやらないでくださいね。」

ゆう子 「はい。わかりました。今日はいろいろと教えていただき、ありがとうございました。」



ゆう子さんは、しよ長さんにどんなことを聞いていますか
にあてはまる、ゆう子さんが言った言葉を書きましょう。

A

B

レベル7

A 「その中で、消ぼうたいの人は、

どのような仕事をしているのですか

」。

※同様の答えは正解とします。

B 「さい後に、

この地いきの火事の原いん

を教えてください。」

※同様の答えは正解とします。

ゆう子さんは、しつ問をしていて、その答えをしよ長さんが答えています。
つまり、ゆう子さんのしつ問の内容は、その後のしよ長さんの話の中から考えることがで
きます。文の前後をよく読んで、必要な言葉をぬき出しましょう。

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前	模範解答

【条件に沿って理由をあげて自分の考えを書く問題】

① おうちの人にあなたのおすすめのきゅう食について、伝えます。

あなたが、おうちの人におすすめしたいきゅう食は何ですか。

あなたがおすすめしたい給食と、そのきゅう食をおすすめしたい理由を、次の〈注

意〉をよく読んで、書きましょう。 **レベル7**

〈注意〉 1 二段落で、四行以上、五行以内で書くこと。

2 一段落目には、あなたがおうちの人におすすめしたいきゅう食をかくこと。

3 二段落目には、あなたがおすすめしたい理由を書くこと。

わたしが、おうちの人におすすめしたいきゅう食は、カレーです。

理由は、じゃがいもやにんじん、野さいがたくさん入っていて、ごはんにかけて食べると、おいしいからです。

〈注意〉を読んで、三つの条件に合うように書きましょう。

段落の分け方やそれぞれの段落で書く内容に注意をしましょう。

最後に、書いた文を読み返しましょう。

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第4学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【物語を読んで答える問題】

1

次の問題を解きなさい。

そこで、しかたがないので、ぼうやだけを一人で町まで行かせることにしました。
「ぼうやお手々をかた方お出し。」

とお母さんぎつねが言いました。その手を、母さんぎつねはしばらくにぎっている間に、かわいい人間の子どもの手にしてしまいました。ぼうやのきつねはその手をひろげたり、にぎったり、つねって見たり、かいで見たりしました。

「何だか変だな母ちゃん、これなあに？」

と言って、雪あかりに、またその、人間の手にかえられてしまった自分の手をしげしげと見
つめました。

（出典 新美南吉 「てぶくろを買いに」）

問一

お母さんぎつねは、ぼうやのかた方の手を何にしてしまいましたか。
文中からぬきだして十二字で書きましょう。

レベル7

か
わ
い
い
人
間
の
子
ど
も
の
手



問題文の「何にしてしまいましたか。」と同じ文に目をつけて、文中からびつたり
の言葉を探してみよう。

問二

きつねのぼうやが、自分の手をしげしげと見つめたのはなぜですか。
わしいものを、次の1〜4の中から一つえらびましょう。

レベル6

- 1 はじめて見る人間の手がめずらしくて、ふしぎに思ったから。
- 2 はやく母さんぎつねと手をつなぎたかったから。
- 3 手の上に雪が落ちてきて冷たくて気持ちが悪かったから。
- 4 人間の手にかえられてしまったことがいやだったから。

1

しげしげとは、物をじっとよく見るという意味があります。言葉の意味と文中の
子ぎつね言葉からもっともふさわしい子ぎつねの気持ちを考えてみましょう。

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語

埼玉県学力・学習状況調査



組	番号	名前	模範解答
---	----	----	------

【「話すこと・聞くこと」の問題】

【会話の内容から質問の言葉を考える問題】

1 次の文を読んで、あとの問いに答えましょう。

まゆみさんが、南町図書館の館長さんにインタビューをしています。

まゆみ 「こんにちは。わたしは、南小学校の北川まゆみです。きょうは、館長さんに図書館のことを聞きに来ました。よろしくおねがいます。はじめに、ここではたらいっている人は、何人いますか。」

館長 「わたしもふくめて全員で四十人です。多くの仕事があるので、みんなで手分けをしてはたらいっています。」

まゆみ 「たくさんの方がはたらいっているんですね。ここではたらいっている人は、
A

館長 「図書館での仕事は、本のかし出しや本の相談、図書館のそうじなどをして
います。来てくれた子どもたちに読み聞かせもします。」

まゆみ 「いろいろな仕事があるんですね。
この図書館には
B

館長 「この図書館は、日本のお話や外国のお話、絵本などたくさん本があります。とくに、子ども向けの本がたくさんそろっているのです。たくさんの子どもたちに来てもらい、本を読んでほしいですね。」

まゆみ 「わたしも本を読みに来くなりました。たくさんの方を教えてください、ありがとうございます。」

一 インタビューの A と B の部分で、まゆみさんは、館長さんにどんなことを聞いていますか。 に当てはまるように、まゆみさんが言った言葉を考えて書きましょう。

レベル6

(1)

「たくさんの人がはたらいているのですね、ここではたらいている人は、

A

どのような仕事をしていますか。

※同様の答えは正答とします。

(2)

「いろいろな仕事があるのですね。この図書館には

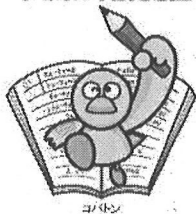
B

どのような本がありますか。

※同様の答えは正答とします。

まゆみさんのしつ問に対して、館長さんが答えています。つまり、まゆみさんのしつ問の内容は、 A B の後の館長さんの話から考えることができます。

埼玉県学力・学習状況調査



コトクン

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前	模範解答
---	----	----	------

【「書くこと」の問題】

- 1 Aさんは、国語の学習でいろいろな遊びについて調べ、そのルールについてまとめました。メモ⑦⑧⑨の中から、あなたが遊んでみたいものをえらび、〈注意〉をまもって書きましよう。

レベル7

メモ

⑦二色おにぎりゲーム

- ①まず集まった人を、「青組」「赤組」「白組」の三つに分ける。
(色は何色でもよい。人数によっては、チームの数をふやすこともできる。)
- ②青は赤からにげ、赤は白からにげ、白は青からにげる。タッチをされたら、そのじんちに連れていかれる。
- ③決められた時間をたたかい、相手をつかまえた数をもっとも多かったチームが勝ちとなる。

⑧聞き耳ゲーム

- ①四〜五名のグループになり、聞き取り役を一名と言葉を言う人に分ける。
- ②言葉を言う人たちでテーマを話し合い、テーマにあった言葉をそれぞれ決める。
(例) テーマがくだもの・言葉を言う人が四人の場合
Aさん↓りんご、Bさん↓バナナ、Cさん↓パイナップル、Dさん↓みかん
- ③合図で、言葉を言う人が決めた言葉をいつせいに言う。
- ④聞き取り役は、聞こえた言葉から、テーマを当てる。
- ⑤聞き取り役がテーマを当てたら、聞き取り役の勝ちとなる。

⑨ろくむしゲーム

- ①二十メートルほどはなれた場所に二つ円をかく。
- ②二人のオニと、子(オニいがい)を決める。
- ③二人のオニは、子をねらってボールを投げ合う。子はオニが投げるボールをよけながら、はなれた円の間を行き来(おうふく)する。
- ④ボールに当たらずに「おうふくしたら「いちむし」、二おうふくしたら「にむし」・・・となり、「ろくむし」まで行けば子の勝ちとなる。

- 〈注意〉
- 1 二段落で、五行以上、六行以内で書くこと。
 - 2 一段落目には、遊んでみたいと思った遊びの名前をメモ⑦⑧⑨の中からえらんで書くこと。
 - 3 二段落目には、えらんだ理由を書くこと。

正解の判断について

- ・一段落目には、メモ⑦⑧⑨の遊びの中から選んで書いていること。
- ・二段落目には、ゲームの内容について理解し、遊んでみたい理由が五行以上六行以内で書いていること。

〈三色おにごっこゲームの解答例〉

わ	た	し	が	遊	ん	で	み	た	い	の	は	、	三	
色	お	に	ご	っ	こ	ゲ	ー	ム	で	す	。			
理	由	は	、	ふ	つ	う	の	お	に	ご	っ	こ	と	
は	ち	が	い	、	お	い	か	け	て	ば	か	り	だ	と
他	の	チ	ー	ム	に	つ	か	ま	っ	て	し	ま	う	と
こ	ろ	が	楽	し	そ	う	だ	か	ら	で	す	。		

〈聞き耳ゲームの解答例〉

わ	た	し	が	遊	ん	で	み	た	い	の	は	、	聞	
き	耳	ゲ	ー	ム	で	す	。							
理	由	は	、	一	度	に	た	く	さ	ん	の	人	の	
言	葉	を	聞	け	な	く	て	も	、	何	人	か	の	言
葉	を	聞	き	取	っ	て	、	テ	ー	マ	を	当	て	ら
れ	そ	う	だ	か	ら	で	す	。						

〈ろくむしゲームの解答例〉

わ	た	し	が	遊	ん	で	み	た	い	の	は	、	ろ	
く	む	し	ゲ	ー	ム	で	す	。						
理	由	は	、	動	き	が	ド	ッ	ジ	ポ	ー	ル	み	
た	い	で	分	か	り	や	す	い	し	、	よ	け	な	が
ら	走	る	の	は	楽	し	そ	う	だ	か	ら	で	す	。

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

模範解答

【物語を読んで答える問題】

1 次の文を読んで、あとの問題に答えましょう。

（※川の中の魚の子供と母親の様子が見えがれている場面です。）

花は、水の上に浮かんで、流れ流れてゆきました。しかし、後から、後から、花がこぼれ落ちてきました。

「どんなに、おいしかろう。」といって、三びきの魚の子供は、ついにその花びらをのんでしまいました。

その子供らの母親は、その翌日、我が子の姿を見て、さめざめと泣いたのです。
「あれほど、花びらをたべてはいけないといったのに。」といいました。

黒い子供の体は、いつのまにか、二ひきは、赤い色に、一ひきは白と赤の斑色になっていたので、たからです。

【中略】

（※町の人間の子供と母親の様子がえがかれている場面です。）

町では、子供たちの母親が心配いたしました。

「どうして、そう毎日川へばかりゆくのだえ。」と、子供たちをわかりました。

「だって、赤い魚がいるんですもの。」と、子供は答えました。

「ああ、昔から、あの川には赤い魚がいるんですよ。しかし、それを捕らえるとよくないことがあるというから、けっして、川などへいってはいけません。」と、母親はいいました。
子供たちは、母親がいったことをほんとうにしませんでした。どうかして、赤い魚を捕まえたものだど、毎日、川のふちへきてはうろついていました。

（出典 小川 未明 「赤い魚と子供」）

（1） アの「それ」とは何のことですか。三字で書きぬきましょう。レベル6

「それ」の前にある言葉をさがします。捕らえるものは「赤い魚」であることがわかります。

赤
い
魚

(2) ———— イの後、子供たちがどうしたのかをまとめた文の□に当てはまる言葉を文中からさがし、それぞれ四字で書きぬきましょう。 **レベル6**

母親が言ったことを

ほ
ん
と
う

にはせず、赤い魚を捕つかまえるために

川
の
ふ
ち

をうろついた。

— イの後の子供たちの様子を読みとります。

・子供たちは、母親がいったことをほんとうにしませんでした。

・(子供たちは) どうにかして、赤い魚を捕まえたものだ、毎日、

川のふちへきてはうろついていた。

という内容から、□に合うように言葉を書きぬきます。

(3) さめざめと泣いたのです。の理由として、もっともふさわしいものを次の1～4の中から一つえらびましょう。 **レベル6**

- 1 子供の魚の色が変わってしまったから。
- 2 赤色や白と赤の斑色の花が流れてきたから。
- 3 子供の魚が、病気になってしまったから。
- 4 三匹の子供のうち、一匹がいなくなってしまったから。



1

理由をたずねる問題です。理由を表すときには、「～から」「～ので」「～ため」などの言葉を使って書かれることが多くあります。この文章中では、「黒い子供の体は、いつのまにか、二ひきは、赤い色に、一ひきは白と赤の斑色になっていたからです。」とあり、子供の魚の色が変わってしまったことが理由だとわかります。

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組	番号	名前	模範解答
---	----	----	------

【同音異義語の漢字を文脈に即して正しく使う問題】

1 次の文の _____ のカタカナを漢字で書く場合、正しいものをあとの1～4の中から、それぞれ一つえらびましょう。

週〓回る、めぐる 習〓何回もくり返し行う 終〓終わる、終わり
集〓あつめる 「ひとところに集める」の意味をもつ「集」が当てはまる。

(1) シュウ中して勉強する。

- 1 週 2 習 3 終 4 集

4

(2) 暗くなる前に、早くカエル。

- 1 返る 2 買える 3 帰る 4 代える

返る〓もとにもどす 変える〓今までどちがったものにする
帰る〓もとの場所へもどる 代える〓あるものに、ほかのものの役目をさせる

3

【漢字の音読みと訓読みを理解する問題】

2 次の _____ 線部の漢字の読み方を書きましょう。また、「音」と「訓」のどちらの読み方か、書きましょう。レベル7

(1) 広間に集まる。

読み方 ひろま 音・訓 訓

(2) 広大な土地。

読み方 こうだい 音・訓 音

中国から入ってきた発音を元にした読み方が「音」です。
もともと日本にあったことばに漢字を当てはめた読み方が「訓」です。

【文の構成を理解する問題】

3 次の文の主語・述語を _____ 線部1～4の中からそれぞれえらびましょう。レベル7

(1) きのう わたしは 友達と 児童館で 遊んだ。

主語 2 述語 5

(2) 水族館で 見た 魚には、青く 大きな ひれが あった。

主語 6 述語 7

主語は、「だれが(は)」「何が(は)」に当たることばです。
述語は、「どうする」「どんなだ」「なんだ」に当たることばです。

【文と文のつながり方と接続詞の働きを理解する問題】

4 次の□の中の文を、意味を変えずに、二つの文にします。

□に入る言葉を、あとの□の中からえらび、二つの文にして書きましょう。

雨がふりそうな天気だが、かさを持っていない。



れい たくさん走ったので、足がいたかった。

たたくさん走った。

だから 足が痛かった。

雨がふりそうな天気だ。

しかし

かさを持っていない。

だから 前の文から予想される文が次に来ることを表す。

つまり 前の文についての説明を表す。

しかし 前の文と反対になるような文が次に来ることを表す。

また 前の文に、後ろの文をつけかわえることを表す。

ここでは、「雨がふりそうな天気」に対して「かさを持っていない」と反対の内容が続くため、「しかし」を使います。

だから つまり しかし また

【指示語の役割を理解する問題】

5 次の文の□は、何を指していますか。

文章中より書きぬきましょう。 レベル6

近所のおばさんが、水玉もよりのワンピースを作ってくれた。次の日、わたしはそれを着て、友達の家遊びに行った。

ここあと言葉は、文章中の言葉を指し示すときにも使います。ここでは「それ」に「着る」が続くため、直前の文の「水玉もよりのブラウス」を示していると分かります。

水玉もよりのワンピース

反対の意味の言葉にはいろいろな組み合わせがあります。

例 「上る」と「下る」

「行く」と「帰る」

【言い切りの形に直す問題】

6 □の言葉と反対の意味のことをばを、書きましょう。

電車が動く。

止まる

埼玉県学力・学習状況調査（小学校）

復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

模範解答

【「話すこと・聞くこと」を問う問題】

1 山田さんは、「カニ」について調べて分かったことを発表しました。発表する内容と発表のときに使用した資料を読んで次の問いに答えましょう。

レベル5

【山田さんが発表する内容】

わたしは、海の生き物が好きです。そこで、カニについて調べてみると、おもしろいことが分かったので発表します。

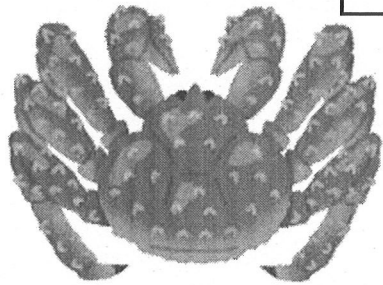
カニのなかまには、十本のあしがあります。腹部は短く、こうらの下におりたたまれているのがとくちょうです。ズワイガニは、食用として広く知られているので、食べたことがある人もいますかもしれません。タラバガニもよく食べられています。けれども、タラバガニは、カニのなかまではありません。タラバガニはカニのような姿ですが、実はヤドカリのなかまです。よく見ると、タラバガニは見えているあしの数が八本しかないのです。

わたしは、ズワイガニもタラバガニも、同じカニのなかまだと思っていましたが、タラバガニはヤドカリのなかまだと知っておどろきました。今度、水族館へ行って、タラバガニの見えているあしの数をたしかめてみたいです。

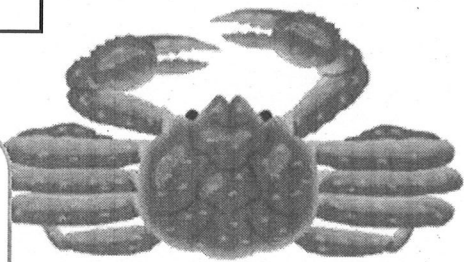
（1）タラバガニの絵は、アとイのどちらでしょう。

【発表のときに使用した資料】

ア



イ



ア

「中」の部分に書かれている、ズワイガニとタラバガニのあしの数のちがいをくわしく読みましょう。

(2) 山田さんの発表内容はどのような組み立てでできていますか。当てはまるものの番号をえらびましょう。

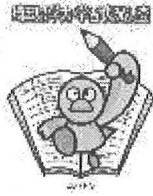
レベル7

- 1 はじめに、聞いているみんなに問いかけてから話しはじめています。
- 2 はじめに、説明したい物について言ってから話しはじめています。
- 3 理由を説明してから話しはじめています。
- 4 水族館へ行く前に調べたことと、行ったあとにわかったことを分けて書いている。

2

「はじめ」の部分にはどんなことが書かれているか、くわしく読んでみましょう。





〈バスの解答例〉

	で	か		き	
	行	る	な	ま	わ
	け	け	ぜ	す	た
	る	れ	な	。	し
	か	ど	ら		は
	ら	、	、		、
	で	短	お		バ
	す	い	金		ス
	。	時	は		で
		間	か		行

〈自転車の解答例〉

	気	転		行	
	持	車	な	き	わ
	ち	で	ぜ	ま	た
	が	下	な	す	し
	い	る	ら	。	は
	い	と	、		、
	か	、	坂		自
	ら	楽	道		転
	で	だ	を		車
	す。	し	自		で

〈歩きの解答例〉

	う	な	か		き	
	だ	下	る	な	ま	わ
	か	り	け	ぜ	す	た
	ら	坂	れ	な	。	し
	で	で	ど	ら		は
	す	歩	、	、		、
	。	き	ゆ	時		歩
		や	る	間		き
		す	や	は		で
		そ	か	か		行

正解の判断について
 ・ 一段落目には、歩き・自転車・バスのうち、いずれか一つを選んで書いていること。
 ・ 二段落目には、三つの方法の特徴を理解した上で、選んだ理由を四行以上六行以内で書いていること。

復習シート 第四学年 国語



組
番号
名前

【「読むこと」を問う問題】

1 次の問題を解きなさい。

模範解答

あめだまは、もう一つしかありませんでした。
 「あたしにちょうだい。」「あたしにちょうだい。」
 ふたりの子どもは、りょうほうからせがみました。あめだまは一つしかないの、お母さんはこまっしてしまいました。

「いい子たちだから待っておいで、向こうへいったら買ってあげるからね。」
 と言って聞かせても、子どもたちは、ちょうだいよ、ちょうだいよ、とだだをこねました。
 いねむりをしていたはずのさむらいは、ぱっちり目をあけて、子どもたちがせがむのを見ていました。お母さんは、おどろきました。いねむりをじゃまされたので、このおさむらいはおこっているのにちがいない、と思いました。
 「おとなしくしておいで。」

と、お母さんは子どもたちをなだめました。けれど、子どもたちはききませんでした。すると、さむらいが、すらりと刀をぬいて、お母さんと子どもたちのまえにやってきました。お母さんは、まっさおになって、子どもたちをかばいました。いねむりのじゃまをした子どもたちを、さむらいがきりころすと思ったのです。

「あめだまを出せ。」
 とさむらいはいました。

お母さんは、おそるおそるあめだまをさしだしました。さむらいは、それをふねのへりにのせ、刀でぱちんと二つにわりました。そして、
 「そおれ。」

と二人の子どもに分けてやりました。

(出典 新美南吉 「飴だま」)

(1) どうして、お母さんは子どもたちをなだめたのですか。

レベル6

- 1 子どもたちにあめだまをあげたかったから。
- 2 さむらいが、いねむりをじゃまされたのでおこっていると思ったから。
- 3 さむらいが、あめだまを刀でぱちんと二つにわったから。
- 4 子どもたちがあそびたいといったから。

2

「おとなしくしておいで。」と、なぜ、お母さんが子どもたちをなだめたのかは、直前の文「いねむりをじゃまされたので、このおさむらいはおこっているのにちがいない」に着目して考えます。



(2)

何を二人の子どもに分けたのですか。四字で書きましょう。

レベル7

あ
め
だ
ま

さむらいが、刀で二つにわったものが、何かを読み取ります。
直前の「それをふねのへりにのせ」の「それ」が指し示している言葉を
さがします。

復習シート 第四学年 国語

模範解答



組
番号
名前

音読み…発音を聞いて、意味がわからないもの
訓読み…発音を聞いて、意味がわかるもの

【言葉】を問う問題

- 1 次の _____ 線部の漢字の読み方を書きましょう。また、「音」と「訓」のどちらの読み方か、えらんで書きましょう。 **レベル7**

手紙を書こうとしたが、なかなか言葉が思いつかず、白紙のままだ。

はくし

音・訓

音

- 2 次の文の主語には _____ を、述語には _____ を引きましょう。
- (1) みさきさんが 手紙を 書いた。

主語とは、文のなかで「だれが(は)」に当たる言葉で、述語は、文章の中で「どうする」「どんなだ」「何だ」「ある・いる・ない」に当たる言葉です。

(2) きのう、赤い チューリップの 花が きれいに さいた。

(3) 今日の 給食の カレーは、 いつもより 具が 大きくて おいしかった。

- 3 次の文の _____ の言葉を国語辞典じてんで調べます。国語辞典じてんにのっている形をえらんで、() に○をつけましょう。

(1) 今日は のどがいたので、部屋の中で 本を読もう。 **レベル7**

() 読もう () 読んだ () 読む

(2) 自分で育てた ミニトマトの実が 赤くなった。

() 赤い () 赤 () 赤く

いろいろに形を変える言葉は、言い切りの形で国語辞典にのっています。

4

の言葉と反対の意味の言葉を漢字で書きましょう。

レベル2

(1) 今日は、とても寒い。



暑い

(2) 予想が 当たる。



外れる

5

次の文の ー は、何を指していますか。文章中より書きぬきましょう。

レベル7

家に帰ると、テーブルの上に、ケーキがのっていた。わたしは、それを食べてから、遊びに出かけた。

「それ」に「食べる」が続くため、食べたものは、
ケーキです。

ケーキ

6

次の ー に当てはまる文と文をつなぐ言葉を ー からえらんで書きましょう。

レベル2

前のものと、あとのものからえらぶときに使います。

(1) 次は、ジェットコースターにのりますか。
のりますか。

それとも

、コーヒーカップに

(2) 今日のサッカーのしあいは、負けると思っていた。
勝つことができた。

でも

、三点差で

前の内容と反対のことや、前の部分から予想できない内容が続くときに使います。

(3) 友だちはピアノがひける。

しかも

、ギターもひける。

前のことに、あとのことをつけ加えるときに使います。



だから それとも しかも でも